

## Web学級日誌校内版は人をつなぐ

富山県砺波市立砺波東部小学校 白江 勉

### 1 はじめに

Web学級日誌とは、簡単に言うと学級日誌のパソコン版である。その校内版になると、次のよさがある。①どのパソコンからでも書き込み可能。②クラスのページ、グループのページ、個人のページなど自由に設定可能。③データの並び替えが可能。④お互いのページが閲覧可能。このようなよさをもつWeb学級日誌校内版を活用することで、校内の人と人がつながり活性化することに役立つことを紹介したい。

### 2 活用事例

#### (1) クラスの子どもと担任

- ・ 出張で教室を空けたとき、その様子を知ることができ、指導に生かすことができた。

#### (2) クラスの子どもと校長先生

- ・ ネットワークでつながっているどのパソコンからも自由に書き込みができるよさを生かして、授業を参観した校長先生からのメッセージをもらった。子どもたちは大喜びで、その後の書き込みがより真剣になってきた。

#### (3) 登校拒否傾向のMちゃんと事務室職員と担任

- ・ 登校拒否傾向のMちゃんが、Web学級日誌に自分の思いを書き込み、事務室職員や担任からのメッセージを楽しみにしながら登校へのハードルが低くなってきた。

#### (4) クラスの子どもと他の学年の子ども

- ・ 朝の会の交流の感想を書き込むことで、自信をもったり異学年交流のきっかけとなったりした。
- ・ 卒業に向けての各クラスの取り組みの様子や卒業生への思いを書き込むことで、卒業生と在校生の気持ちがつながったり、各クラスの取り組みに刺激を受けたりした。

#### (5) クラスの子ども同士

- ・ 1か月の出来事を大判プリンターに印刷することで、クラスの出来事を振り返り、友達のよさを認めたり自分の成長を実感したりすることができた。



### 3 今後の活用に向けて

- ・ 毎日各クラスが書き込みをしているメリットを生かして、テーマを決めた書き込みが可能である。
- ・ 異学年交流の際にその様子や感想を書くことで、交流を深めることに役立ったり、他のクラスの子どもたちや担任に広めたりすることが可能である。
- ・ 校長先生からのメッセージが定期的にもらえるようにすることで、書き込みに対する意欲付けになったり、校長先生との交流が深まったりすることが可能である。